

横田英史の 書籍紹介コーナー



QRコードの奇跡

～モノづくり集団の発想転換が
革新を生んだ～

小川 進

東洋経済新報社 1,980円(税込)

QR(Quick Response)コードの開発物語。開発したデンソーの技術者をはじめとした関係者に丹念に取材した労作である。前身のトヨタ生産方式の「かんばん」向けバーコードに始まり、誕生のキッカケ、パブリックドメインにした経緯、国際標準化の取り組み、進化、QRコード先進国の中国の状況など、興味深いトピックスが満載されている。充実しているのはアプリケーション拡大の過程。セブン-イレブンのPOSや検品、単品管理での利用、ANAのチケットレス・サービス、鉄道のホームドアなどについて詳述する。

身近な存在だが、意外と知らないQRコードの話が次から次へと登場する。筆者は神戸大学大学院教授で、研究領域はイノベーションや経営学。経営者や上司の度量、国際標準化についての逸話もあり、技術者だけでなく経営に携わる方々にも読んでほしい良書である。

御社の新規事業はなぜ失敗するの?

～企業発イノベーションの科学～

田所 雅之

光文社 924円(税込)

日米でベンチャーの起業経験をもち、現在は起業支援を行っている著者による、大企業におけるイノベーションと新規

事業を成功させるための勘所。どのような心構えを持ち、どのような組織にすべきかについて論じる。クリステンセンの「イノベーションのジレンマ」「ジョブ理論」などを自分なりに咀嚼し、実ビジネスに応用するための勘所を説く。図を上手にを使って解説しており理解が進むのも本書の特徴だ。

新規事業やイノベーションを成功に導くには、フェーズAの「イノベーションを理解する」から、フェーズDの「組織をアップデートする」に至る4フェーズで企業と経営者、社員を変える必要がある。特に「3階建ての組織」を実装することが大企業では重要と説く。既存事業と新規事業、イノベーションのそれぞれについて、KPIや評価基準を変え出る杭が打たれることを防ぐ。

教養としてのコンピューターサイエンス講義

～今こそ知っておくべき
『デジタル世界』の基礎知識～

ブライアン・カーニハン、酒匂寛、訳

日経BP 2,860円(税込)

「プログラミング言語 C」の共著者カーニハン 米プリンストン大学教授による「コンピュータサイエンス」の啓蒙書。知的財産権、特許、著作権、ライセンスなどにも言及する。サブタイトルの「今こそ知っておくべき『デジタル世界』の基礎知識」通りの内容だ。語り口は平易だが、読みこなすのは必ずしも容易ではない。そこそこに技術用語が登場するので、それなりの基礎知識が要求される。

本書のカバー範囲は大きく3つ。ハー

ドウェア、ソフトウェア、ネットワークである。インターネットを含むネットワークがほぼ半分のページを占める。コンピュータサイエンスにおけるインターネットの衝撃がよく分かる。ネットワークは、TCP/IP、暗号、インターネット、セキュリティ、検索エンジン、Webマーケティング、SNS、プライバシーなど範囲く解説する。

グローバル・バリューチェーン ～新・南北問題へのまなざし～

猪俣 哲史

日本経済新聞出版社 2,750円(税込)

グローバルに展開するサプライチェーンを付加価値の連鎖(グローバル・バリューチェーン:GVC)の観点から分析した書。定量的な分析が多く、サプライチェーンの実情について説得力に富む議論を展開する。新型コロナウイルスでサプライチェーンに注目が集まるなか一読に値する。米中の貿易摩擦の本質を理解する上でも役立つ。

事例も適切である。例えばiPhone3Gの米国での価格は500ドルだが、米国が332ドル、日本/韓国/ドイツなどが162ドル、中国が6.5ドルなどと具体的に理解が進む。

筆者はグローバル・バリューチェーンにおけるポジション争いを「グローバル化時代の新・南北問題」ととらえる。途上国はスマイルカーブの底辺から両端に向けて支配領域を拡大して、付加価値を得ようと動く。一方の先進国は保護貿易的な政策で阻止に動くといった具合である。

横田 英史 (yokota@et-lab.biz)

1956年大阪生まれ。1980年京都大学工学部電気工学科卒。1982年京都大学工学研究科修了。

川崎重工業技術開発本部でのエンジニア経験を経て、1986年日経マゴロウヒル(現日経BP社)に入社。日経エレクトロニクス記者、同副編集長、BizIT(現xTECH)編集長を経て、2001年11月日経コンピュータ編集長に就任。2003年3月発行人を兼務。

2004年11月、日経バイト発行人兼編集長。その後、日経BP社執行役員を経て、2013年1月、日経BPコンサルティング取締役、

2016年日経BPソリューションズ代表取締役役に就任。2018年3月退任。

2018年4月から日経BP社に戻り、日経BP総合研究所 グリーンテックラボ 主席研究員、2018年10月退社。2018年11月ETラボ代表、2019年6月当協会理事、現在に至る。

記者時代の専門分野は、コンピュータ・アーキテクチャ、コンピュータ・ハードウェア、OS、ハードディスク装置、組込み制御、知的財産権、環境問題など。

*本書評の内容は横田個人の意見であり、所属する団体の見解とは関係がありません。

